## 新日鐵住金(株)名古屋製鐵所の事故について

## 平成 26 年 1 月 17 日 (金) < 1 回目>

自家発電設備の空気遮断器(大型ブレー カー)が、経年劣化や異物の付着によって ショートしたことにより停電が発生

平成 26 年 1 月 20 日 (月) 〈2 回目〉

1月17日の停電の復旧過程において、電源系 統に過電流が発生し、保護回路が働き自動遮 断したことにより停電が発生

平成 26 年 6 月 22 日 (日) < 3 回目>

自家発電設備が、電力系統安定化装置(S SC) の不具合により停止し、停電が発 平成 26 年 7 月 27 日 (日) < 4 回目>

自家発電所内の4号発電機の主変圧器で 地絡・短絡が発生し、停電が発生

これらの停電に伴い、コークス製造工 程で発生する有害な一酸化炭素を含 む燃料ガスの正常な処理ができなく なり、コークス炉から燃焼放散したこ とにより黒煙が発生した。

発生時間 11:49 収束時間 翌日 5:30

発生時間 9:10 収束時間 11:15

発生時間 14.52収束時間 翌日 3:33

発生時間 7:18収束時間 10:35

## 環境部の事故発生時の対応

- 通報を受け直ちに環境部(知多県民センター)職員が現地に向かい、情報収集を行うとともに、検知管により敷地境界における有害物質等の濃度を確認した。
- 近傍の大気汚染常時監視測定局(県・市管理)のデータを確認した結果、異状は見られなかった。
- 事故の当日又は翌日、環境部(本庁)職員が立入検査を実施した。





## 新日鐵住金の対策

・3交代運転員による集中監視できる仕 組みを構築し、負荷電流を常時確認す る運転体制に強化



## 新日鐵住金の対策

- ・自家発電単独運転となった場合、オペ レータによる手動周波数調整を標準化
- ・電力系統安定化装置(SSC)制御ソ フトウェアのプログラム修正



# 知事からの要請 2回目 8月5日

- ○名古屋製鐵所の設備全体の総点検の実施
- ○電源の2系統化の早期の実施と応急対策の検討
- ○外部の有識者の委員を加えた検証組織の設置
- ○県民への説明



## 新日鐵住金の対策

新日鐵住金の対策

作を禁止

1月の2回の事故を受け、黒煙対策としてコークス炉ガス排送関連設備の電源を2系 統化し、一方の系統で停電が発生した場合でも継続運転や短時間での運転再開を可能と する対策を2015年度末までに実施することを表明(3月31日)



8月5日の知事要請を受け、早期に実施することとし、工程等を見直し中





# 知事からの要請 1回目 7月7日

- ○原因の徹底究明及び速やかな再発防止 策の実施
- ○県民への説明



## 新日鐵住金の対応 8月8日発表

・稼働中の同じタイプの空気遮断器の操

・真空遮断器に更新。(2014年度中)

外部の有識者の委員を加えた「事故対策委員会」及び「受配電設備等調査委員会」を設置し、再発防止対策等について検討中